

■大玉村都市計画マスタープランおよび大玉村立地適正化計画に関する意見書について

資料 4

No.	頁数	行数など	意見、助言及び修正案等	理由	回答
1	99	(3) スマートICの整備に向けた検討(追加)	E T C 2.0の入場割引(物品購入割引)、一時退出機能を活用し、あだたらの里直売所やお食事処たまちゃん、更には向山製作所大玉ベース店に誘導し、休憩を兼ねて大玉村の産直品、地産地消に触れてもらう。	首都圏や関東圏からの利用者を拡大し、大玉村に触れてもらい、新規利用や再度の利用を促す。「あだたらの里」の名称はPR効果が大きくある。	スマートICの整備検討と関連づけながら、今後議論してまいります。
2	99	(3) スマートICの整備に向けた検討(追加)	安達太良山に向けて、「避暑地」として観光地域を目指す。「いぐね」のある田園地帯に迎えられ、県道土湯本宮線の歩道・遊歩道の整備を進め、現存する豆腐屋、パン屋、ピザ屋、そば屋等の拡大を図るとともに、日本一の森のキャンプ場やゴンドラリフト、更にはあだたら登山、岳温泉や塩沢温泉、土湯温泉の利用拡大にもつなげる。	首都圏や関東圏からの利用者を拡大し、あだたら高原と位置づけ、広域的な(村内だけにこだわらず)観光ルートを設ける。 この場合名称は「あだたら高原・大玉スマートインターチェンジ」がベター。	周辺地域も含めた交流人口の拡大が期待できる有効なご意見として、今後議論してまいります。
3	66	目標の柱5 誰もがでからけられるむらづくり(追加)	高校生を対象とした通学バスについて、充実を図ることは重要ではあるが、三者三要、十人十色の通学時間や方法がある中で、公共交通で全てを賄うことは困難であると考え。 各家庭での駅までの送迎を助成する、あるいは、グループ通学実施時の助成等を検討する。	高校生前まで、充実した子育て環境で過ごせても、高校入学に合わせて、郡山市等へのマイホーム建設・転出の例が見られる。高校通勤の便宜を図ることにより、定住の促進につながるし、子育て支援の高校版にも位置づけられる。	公共交通の利用促進を期待出来る有効なご意見として、今後議論してまいります。
4	—	バスストップと合わせたスマートインターの利活用の促進について	スマートインターのバスストップには、現行路線の停留も可能になると思われる。村民住民の利活用として、プランを練って利用してもらう方策として、 ① 定期路線で、東京都庁の最上階見学ツアーや、コースの開発が必要になるが、大相撲やスカイツリーの見学旅行を企画してはどうか。 ② 会津若松市やいわき市の定期路線に、鶴ヶ城等の見学ツアーを企画してはどうか。 ③ スマートインター利用の通勤+通学にいくらかでも助成を出し、利活用の促進につなげてはどうか。	村民の利活用の促進を図り、高速交通の恩恵を享受するとともに、利活用の促進を図り、恒久的なものとする。	①②③スマートインターチェンジ及びバスストップの利用促進が期待できる有効なご意見として、今後議論してまいります。
5	—	(郡山市のベッドタウン化をめざして)	将来的に、田園都市という位置づけは素晴らしいが、当面は郡山市のベッドタウン化を視野に入れて、通勤道路の整備等を行う。例えば、田んぼどおりについて、大橋五百川停車場線を核に、国道4号までの一定規格の道路の整備を働きかける。	産業集積や公園等を順次整備するのも必要であるが、当面、産業拠点である郡山市のベッドタウン化を視野に入れ、安定した住民を確保することにより、商業施設が張り付くし、産業集積も進むのではないかと。	上位計画との整合性を図りながら、今後議論してまいります。
6	—	(三森池の利活用について)	石筵本宮線について、トンネルや橋りょうにより道路整備がなされているが、石筵地区において、郡山市が用地調査・測量を行っているという。ミドルラインの構想も進むと思われるが、三ツ森ため池は、農業用水の目的があるものの、間接的に観光施設としての可能性も秘めていると考える。 例えば、簡易的な上水と污水处理ができれば、芋煮会やキャンプには、最適な施設と考える。	県の道路整備にあわせて、計画を検討すべきと考える。	三ツ森ため池は、P82「▼自然・景観の方針図」において、観光・レクリエーション拠点に位置付けており、P93(4)自然環境ゾーン「〈地域別構想〉 都市機能分野の取組方針 ■遊休施設等の活用 」において、利活用推進を検討することを記載しています。 引き続き、観光促進が期待できる有効なご意見として、議論してまいります。
7	-	-	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の全般等について都市計画審議会の中で報告いたします。	—	—

No.	頁数	行数など	意見、助言及び修正案等	理由	回答
8	P99～100	-	スマートインターチェンジと高速道路バスストップの導入策について都市計画審議会の中で報告いたします。	-	-
9	P66～67	-	自然災害への対応について都市計画審議会の中で報告いたします。	-	-
10	その他	-	（仮称）大玉村立地適正化計画原案、大玉村都市計画マスタープラン原案（3章～6章）どれも100ページ以上に及ぶ作成に関わったスタッフの皆様に感謝申し上げます。本当にごくろう様でありありがとうございました。将来の大玉村が楽しみです。	-	-